

医学分館の古医書・画像資料データベース

Michel, Wolfgang

Kyushu University, Faculty of Languages and Cultures : History of Euro-Japanese Cultural Exchange

<https://doi.org/10.15017/2837>

出版情報 : 図書館情報. 39 (1), pp.2-3, 2003-07-31. Kyushu University Library
バージョン :
権利関係 :

九州大学附属図書館報

図書館情報

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 39, No. 1 (2003)

——【目 次】——

医学分館の古医書・画像資料データベースについて.....	2
九大が所蔵する記録史料の状態と活用（４）江戸の科学「桑木文庫」.....	4
第44回開学記念貴重文物展観と公開講演会.....	6
本年度の研究開発室活動.....	8
平成14年度特別図書購入一覧.....	9
電子ジャーナルの整備について.....	10
平成14年度各種統計.....	11
平成15年度附属図書館商議委員名簿.....	13
人事異動.....	14
図書館日誌.....	15
自著紹介.....	17
本学関係者著作寄贈図書.....	19
新図書館だより 第3回.....	20

九州大学附属図書館のシンボルマークとマスコットキャラクター



シンボルマーク

九州大学の「九」の字の中に図書館の「図」の字を重ねて輪郭を作り、キャンパスを彩る木々の緑色と桜の桃色、紅葉の秋色を配色してつぼみに仕立てている。知識の泉（図書館）を糧に伸びやかに成長することを願う若い芽（学生）を象徴する。



マスコットキャラクター きゅうと君

「九」の字と「図」の字を重ねてデザインされている。
好奇心旺盛なきゅうと君は、知識と情報を求めて頭の触手を回転させて飛び回る。

医学分館の古医書・画像資料データベース について

Wolfgang Michel

インターネットが広く普及し、Google Picture Searchのような特別な検索システムが揃っている現在でも、授業や講演、出版物用に使える良質な画像をネット上で探すとなるとそれほど簡単ではない。ウェブサイトに見られる画像は質の良くないものがほとんどで、また著作権の問題が画像利用の障害となることも多い。医史学関連の画像ならば、米国国立医学図書館(NLM)が、写真や印刷物6万点をデータベース化した「Images from the History of Medicine (IHM)」をネット上で公開しているが、ここにある日本や中国の医史学関連の画像資料は約100点ほどにすぎない。また効果的な検索語を選ぶためには専門用語の知識とある程度の根気が求められる。

九州大学附属図書館医学分館の貴重古医書コレクションは、医学分館の保存図書館での数々の発見や医学部の研究室からの古書管理の引き継ぎもあり、この数年で国内最大級の古医書コレクションといえるまでになった。洋書や和漢書の大部分についてはすでに目録を作成済みである。芦北卓也、大島明秀、日比佳代子、内山一幸、藤田理子各氏の尽力により書誌学的に正確な目録を作成することができた。和漢書と写本の目録には、手書きの補足や印などについての付随の情報も多数収録されている。

(http://herakles.lib.kyushu-u.ac.jp/igaku/cat_east.html)



図1 貴重古医書コレクションの和漢書総目録の例

両目録とも古医書コレクションのウェブサイトからダウンロードでき、また国立情報学研究所の総合目録データベースWWW検索サービス(<http://webcat.nii.ac.jp/>)で確認できる。

特に和漢書の画像資料へのネット上のアクセスについては十分であるとはいえず、平成14年度に日本学術振興会から科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の交付を受けて「九州大学医学分館所蔵貴重古医書・画像データベース」を作成し、インターネットで公開している。

(<http://icomb.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html>)



図2 古医書画像資料データベースのページ

そのためのソフトウェアの開発は附属図書館研究開発室の喜田拓也講師が行った。このデータベースは現在(2003年7月)専門の業者がカラー撮影した約9,500点の和漢・洋書の画像(標題紙、目次、挿し絵)を網羅している。特に重要と思われる書籍は全文を収録している。

画像資料を検索する際、特定の画像を求めているのであれば、書籍のタイトルリストから出発す

ばよい。具体的な資料を探すのであれば、キーワード検索が便利である。人名、標題などコレクションの総目録からのキーワードはもちろん、「心臓」、「Herz」、「Heart」、「coeur」のような一般語を用いて、当該の画像資料を探すこともできる。著者像、扉絵、扉題、目次のみの抽出も可能である。和漢籍を調査したいが、漢字入力ができない海外のユーザーのために、著者名、書名などの基本データをヘボン式のローマ字表記でデータベースに入れてある。

検出した画像は当該文献の書誌データとともに表示される。モニター上で見るだけなら画像の品質は通常のもので十分であるが、印刷用や詳細な調査用に同じものが高品質画像でも用意されている。



図3 検索結果のページ

また、個々の画像については専用のビューア (Kyushu University Library Image Viewer : kuliv) を使って高精細画像 (JPEG 画像、約 1 MB) の縮小や拡大が可能である (Windows 上の Internet Explorer 6 と Netscape 7 で動作確認済み)。



図4 kuliv で拡大した高精細画像

論文などへ掲載をする場合は申請不要であるが、出典及びコレクションについて明記すること。また、図書への掲載についてはダウンロードできる「貴重図書掲載許可申請書」(pdf)を提出しなければならない。

これまでの反響から見て、この画像資料データベースとともに医学分館の貴重古医書コレクションは、いずれは日本国内だけでなく海外においても、日本の医史学という分野における有数の情報源のひとつになるだろうと思われる。

(ヴォルフガング・ミヒエル 言語文化研究院教授
附属図書館研究開発室室員)